

年度	2026
授業コード	13603
授業科目	限局性学習症指導の理論と実践
英文科目名	Theory and Practice of Educational Instruction for Children with Specific Learning Disorder
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（専門職学位課程） 教職実践高度化専攻 特別支援教育コース
講義区分	講義
単位数	2.0
時間割	2学期: 月曜日 3 時限
講義開講時期	2学期
履修開始年次	1
メディア授業科目	
区分1	平成30年度以降入学生
区分2	大学院科目
履修における注意点	
資格等	教免－幼稚園・小学校・専修、教免－中学校・高校（教職に関する科目）専修

## 担当教員

◎は代表教員です。

氏名	所属	E-mail
◎ 松本 秀彦	教職大学院	

授業実施方法	対面のみ
--------	------

授業の目的 【COURSE AIMS】	限局性学習症の背景要因と指導方法の基礎知識を学び、限局性学習症のある児童生徒の指導に適用した実践について学ぶ。
関連科目名、関連科目コード番号 【COMPUTER LINK / RELATED COURSES】	「限局性学習症評価の基礎と実際」
授業の概要 【COURSE SUMMARY】	Specific Learning Disorder (SLD)（限局性学習症）は、「読字」、「書字」、「算数」の障害を主症状とする神経発達症であり、小学校・中学校・高等学校の通常の学級に在籍している者も多い。SLDの認知背景には、言語または非言語的情報処理過程の様々な障害が想定されていることから、適切な指導に当たっては、その前提としてそれら認知的背景を理解する必要がある。一方、幼稚園、小学校、中学校、高等学校など、その発達段階と教育環境に応じて求められる「読み・書き・計算」のスキルは異なり、またSLD児の学習のつまずきは多様である。また、SLDに対して適切な指導／支援を展開していくに当たっては、認知的背景理解とともに、発達段階や学習スキル、個人のつまずき、周囲の環境（教員の教授法、クラスワイドな状況）など種々の要因を考慮する必要がある。 前半はSLDに関連する神経発達症群の基礎について講義します。 後半は受講者が主にLD研究（日本LD学会の学会誌）の論文を選び報告し、参加者でディスカッションを行います。

## 授業科目の到達目標【COURSE OBJECTIVES】

授業科目の到達目標	
1	①限局性学習症の基本的特徴を説明できる。
2	②限局性学習症の指導のもととなるアセスメントの概要を知っている。
3	③アセスメントの解釈に基づいて効果的な指導法の具体例を説明することができる。

キーワード	限局性学習症、授業のユニバーサルデザイン、ICT、認知特性、読み書き計算スキル指導、RTI、MIM
【KEYWORD】	
履修希望学生に求めるもの	学習障害のある児童生徒への指導の興味関心
【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】	

## 授業計画【LESSON PLAN】

第1回	<p>授業概要</p> <p>ガイダンス/SLDに関する研究についての概観</p>
第2回	<p>授業概要</p> <p>SLDに関連すること1：合理的配慮、基礎的環境整備</p>
第3回	<p>授業概要</p> <p>SLDに関連すること2：神経発達症群の診断区分</p>
第4回	<p>授業概要</p> <p>SLDに関連すること3：自閉スペクトラム症 事例検討のながれ（支援枠組みの提示：①本人②環境（クラスの児童、授業、家庭）③校内体制（管理職の決定、チーム支援）</p>
第5回	<p>授業概要</p> <p>SLDに関連すること4：ADHDの基礎知識、CPT、ABC分析、ADHD模擬事例：離席する児童について、様々な情報を元に対応を検討。</p>
第6回	<p>授業概要</p> <p>SLDに関連すること5：MIMモデル、プログレスモニター（1）読みと算数</p>
第7回	<p>授業概要</p> <p>LDの認知特性理解：読み書き：視覚的注意、視知覚、手先の不器用さ、代替的方法</p>
第8回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性理解：算数・問題解決：数の概念の発達、算数障害の背景要因、指導法</p>
第9回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：(1)読み障害</p>
第10回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：(2)書字障害</p>
第11回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：(3)算数障害障害 計算、文章題</p>
第12回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：(4)作文指導</p>
第13回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：(5)漢字指導、文字指導</p>
第14回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導に関する論文購読：その他</p>
第15回	<p>授業概要</p> <p>SLDの認知特性と指導のまとめ</p>

授業時間外の学習	
【STUDENT PREPARATION & REVIEW AT HOME】	授業に関する予習、発表準備のために週4時間学習する。
	<p>【必携】小貫悟・村山光子・小笠原哲史編著(2019)LDの「定義」を再考する、金子書房</p> <p>【参考書・参考資料等】</p> <p>湯澤 正通(著,編集),湯澤 美紀(著,編集), ワーキングメモリと教育(2014/5/13)</p> <p>著：トレイシー・アロウェイ ロス・アロウェイ,編集：湯澤正通 湯澤美紀 ワーキングメモリと発達障害 [原著第2版] 教師のための実践ガイド.北大路書房</p>

教科書・参考書【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】

河村 暁(著) 教室の中の算数障害—数量処理とワーキングメモリから読み解く… 認知の視点でつくる教材と学習支援.明治図書  
熊谷 恵子(著), 山本 ゆう(著) 通常学級で役立つ 算数障害の理解と指導法 みんなをつまずかせない! すぐに使える! アイディア48. Gakken  
文部科学省 幼稚園教育要領(2017)・小学校学習指導要領(2018)・中学校学習指導要領(2018)・高等学校学習指導要領(2019)  
上野一彦・松田修・小林玄・木下智子著(2015)日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント、日本文化科学社  
M.スノウリング著(加藤醇子・宇野彰監訳)(2008)ディスレクシア読み書きのLD親と専門家のためのガイド、東京書籍  
加藤醇子編著(2016)ディスレクシア入門「読み書きのLD」の子どもたちを支援する、日本評論社  
一般財団法人特別支援教育士資格認定協会編(2018)S.E.N.S養成セミナー特別支援教育の理論と実践 II指導、金剛出版

成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

	比重・配分
学習意欲・授業参加度	100

成績評価に関する補足	授業内での発表、討議について評価する。
------------	---------------------

オフィスアワー

氏名	曜日	時間	場所
松本秀彦	月	12~13	研究室

オフィスアワーに関する補足	その他の時間にも対応可能です。メールでご相談ください。
---------------	-----------------------------

授業形態	口頭での質疑やディスカッションを含む
------	--------------------

使用するLMS	その他 Google Meet
---------	--------------------

記入者名・記入日時等	松本秀彦 2/19 18:00
------------	-----------------

教員の実務経験の有無	無
------------	---